

熊本大学シラバス

基本情報

授業科目名	(日)	コース科目1 専門薬剤師実習
	(英)	Practical training for the pharmacist of pursuing board certification

時間割コード		開講年次	2年次
学期	前・後期	曜日・時限	月～金、全日
講義題目	専門薬剤師実習		
担当教官	入江徹美、平田純生、齋藤秀之、城野博史、武田泰生、池田龍二		
科目コード		科目分類	実習
選択/必修	選択必修	単位数	8

詳細情報

授業形態	薬剤師は医薬品全般に精通したジェネラリストであると同時に、ある特定の疾病に対する薬物療法のスペシャリストとして先導的に活躍することが期待されている。その中で、地域社会のニーズおよび熊本大学医学部附属病院や関連施設の特徴を考慮して、高度な専門性や優れた研究能力を兼ね備えた専門薬剤師(がん専門薬剤師、腎臓病薬物療法専門・認定薬剤師)の資格取得をめざす学生を支援するための実践型実習である。
授業の目標	がん専門薬剤師または腎臓病薬物療法専門・認定薬剤師の業務と責任・役割を理解し、専門的かつ高度な薬剤師業務に関する知識、技能、態度を習得することを目的とする。
授業の内容	<p>○がん専門薬剤師の養成支援 3ヶ月:熊本大学医学部附属病院薬剤部または鹿児島大学大学院医歯学総合研究科薬物動態制御学分野(薬剤部)において、がん薬物療法認定薬剤師研修概要に従って実施する。</p> <p>9ヶ月:がん領域における学会発表ができる研究・教育プログラムを作成し、実習を実施する。なお、学会発表に際しては、院生が所属する分野も協力する。実習中の研究内容は実習先の薬剤部ならびに学生が所属する分野長との協議により決定する。</p> <p>○腎臓病薬物療法専門・認定薬剤師の養成支援 3ヶ月:社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院薬剤部または国家公務員共済組合連合会熊本中央病院薬局において、慢性腎臓病、急性腎障害、透析患者などの薬物療法について研修する。</p> <p>9ヶ月:腎臓病領域における学会発表ができる研究・教育プログラムを作成し、実習を実施する。なお、学会発表に際しては、院生が所属する分野も協力する。実習中の研究内容は実習先の薬剤部・薬局ならびに学生が所属する分野長との協議により決定する。</p>
キーワード	がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師、腎臓病薬物療法専門・認定薬剤師
テキスト	薬学生・薬剤師のためのがんの薬物治療学(化学同人) 新臨床腫瘍学—がん薬物療法専門医のために(日本臨床腫瘍学会) 日本腎臓病薬物療法学会編 腎臓病薬物療法専門・認定薬剤師テキスト(じほう)、日本腎臓学会編集委員会編 初学者から専門医までの腎臓学入門(東京医学社)
参考文献	がん専門・認定薬剤師のためのがん必須ポイント(じほう) 日本腎臓学会編 CKD診療ガイド2012(東京医学社)、平田純生編 透析患者への投薬ガイドブック改訂2版(じほう)、平田純生編 腎不全と薬の使い方Q & A(じほう)
評価方法・基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習終了時に実施する実習内容のプレゼンテーションおよびレポートの成績が6割以上を合格とする。 2. e-portfolioの「月報」、学生による自己評価「形成的評価」に関する評価は、学生の所属研究室指導教員が評価を行い、評価点が6割以上を合格とする。合格点に達しない場合は、評価を行った教員の指示に従い、実習に関するレポートを提出する。 3. 成績評価の点数配分は、「実習の総括的評価」(70点)、e-portfolioの評価(30点)、合計で100点満点とする。なお、実習で得られた成果を学会等で発表した場合には、評価点を加算する。
履修上の指導	実習テーマや実習の進捗は、薬剤部指導教員、所属分野の指導教員とよく相談すること。
事前学習	学部の薬局・病院実習の内容をよく復習しておくこと。
事後学習	がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師、腎臓病薬物療法専門・認定薬剤師になるための努力を続けること。